

# 氏神だより

岸和田市中井町2丁目7番1号  
夜疑神社  
宮司 原 充 昭  
TEL 072-445-2191  
FAX 072-444-9419

## 鎮守の森

古来日本では、森という自然を神が宿るところとして崇めてきました。年とともに成長し、やがて天にも届くような大きなものになる木に、神霊の存在を認め、神の宿るところと考えたのです。すなわち、森は神をお迎えする場所として人々に崇められてきたわけです。古代の人は、この森の神聖な木に神をお招きして農作物の収穫を願い、また感謝のお祭りをしました。その後、森の中に



夜擬神社境内林

神の常住を願って神殿が設けられました。これが氏神様であり、産土神（土地の神様）であります。こうして全国各地の郷土の森の中に本社が祀られ、その森を鎮守の森として侵すことなく、神社は地域社会の人たちの心のよりどころとして崇められてきました。今や開発によって、特に都会では緑が少なくなりつつありますが、古来から受け継がれた鎮守の森は、自然に頭を垂れさせる神聖さと、心の安らぎをもたらしてくれます。また植物は、空気中の二酸化炭素、根から吸収する水、太陽の光によって光合成を行ない、その結果、酸素を作りだしています。そしてこの酸素中には、人体の長寿・健康のもととなるフィトンチッドという物質が含まれているのです。鎮守の森（神社）は、物質文明によって汚れた心身を洗い流してくれるとも言えます。

祝日には国旗を掲げましょう。

**氏子地域**  
中井地・吉井地・荒地・箕土路地・下池田地・西大路地  
大町地・小松里地・額地・額原地・池尻地・並に泉北郡忠岡町北出地・同高月地の各地域

## コト始め

正月が近づくと家の中を掃除し、門松や注連縄を買ってきたり鏡餅を飾ったりと準備をします。この正月の用意を始める日を「正月始め」「コト始め」と称して、十二月八日または十三日にするところが多いようです。正月にはどの家庭でも歳神を迎え祭事をしたもので、そのための準備を始める日なのです。当社でもこの頃、鳥居に懸けられる注連縄が中井町の有志によって縄われています。



## 厄除祈願

一般に数え年で男性は二十五・四十二・六十一歳、女性は十九・三十三・三十七歳が厄年です。中でも男性の四十二歳、女性の三十三歳は大厄とされ、その前後を前厄・後厄といいますが、心身共に熟年に達し、社会的・家庭的・肉体的な変調や転機の時期であり、重要な節目になることが多いので、これらの歳を災いの多い年とするのは、単なる迷信とも思えません。こうした時、神前に参詣して自ら心を引き締め、誓いと覚悟を新たにすることは非常に意義のあることとしましょう。

平成二十八年厄年表(数え年)	
男性	女性
平成4年生	平成10年生
25歳	19歳
昭和51年生	昭和60年生
41歳(前厄)	32歳(前厄)
昭和50年生	昭和59年生
42歳(本厄)	33歳(本厄)
昭和49年生	昭和58年生
43歳(後厄)	34歳(後厄)
昭和31年生	昭和55年生
61歳(還暦)	37歳

※当社では節分(二月三日・水)に厄除祈願を行っております。午後九時まで随時受付尚、当日ご都合の悪い方はお電話にて他の日を御予約下さい。

## 正月行事のご案内

- 一日 歳旦祭
    - ・午前九時半～午後三時半 浪速神楽奉納
  - 二日～会社・工場の作業安全 各種団体の新年祈禱 家々の家内安全祈願 (要予約)
  - 九日～十二日 えびす祭
    - 福笹、吉兆等授与
    - ・九日、十日 甘酒の接待(無料) 夜 浪速神楽奉納
- ※元日の日中は駐車場が大変混雑致します。できるだけ徒歩・自転車にてご参拝下さい。

## 巫女・福娘募集

元旦の「巫女」戎祭の「福娘」の社頭ご奉仕をしていただけませんか。  
巫女 一月一日  
福娘 一月九日(土)午後10時(日)  
十八歳～三十歳の未婚の女性。御希望の方は、事前に御連絡の上、履歴書(写真要)をお持ち下さい。  
巫女のみ、福娘のみの希望も可。時間・ご奉仕料等は、お問い合わせ下さい。